

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】 SST G1 Pro Ver.1.1.7
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver. 1.1.7> 2015. 9. 17

本バージョンアップによる変更内容

- 属性コピー&ペースト機能の追加
- 波形ウィンドウ上で複数字幕の選択機能の追加
- AAFエクスポートの機能追加

本バージョンアップによる変更内容


●属性コピー&ペースト機能を追加しました。

選択した字幕内の字幕と属性（フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点 etc…）をコピーし、空の字幕へペーストもしくは波形ウィンドウ上へペーストができる機能を追加しました。

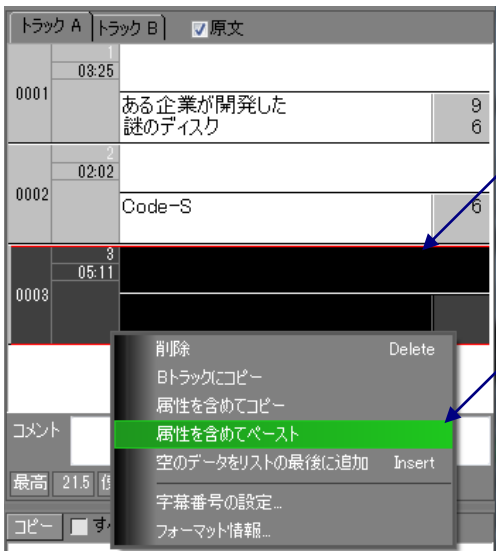
本機能は、CANVASs CHANNEL (https://www.youtube.com/channel/UCo3_QYvhrxBhAgzKmBNE8A) の「属性コピー機能」にて動画のご紹介もごさいます。

①波形ウィンドウ上 もしくは 字幕ウィンドウ上でコピーしたい字幕を選択し、右クリック→[属性を含めてコピー]を選択します。

②ペーストしたい先を選択し、右クリック→[属性を含めてペースト]を選択します。

 ペースト先が字幕ウィンドウか波形ウィンドウかによって、ペーストできる内容が異なります。

<ペースト先が字幕ウィンドウの場合>



1. あらかじめ作成しておいた、空の状態のハコを選択します。

2. 右クリック→[属性を含めてペースト]を選択します。

3. 選択したハコに、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※字幕の表示時間（デュレーション）はペーストされず、ペースト先のハコの表示時間に依存します。

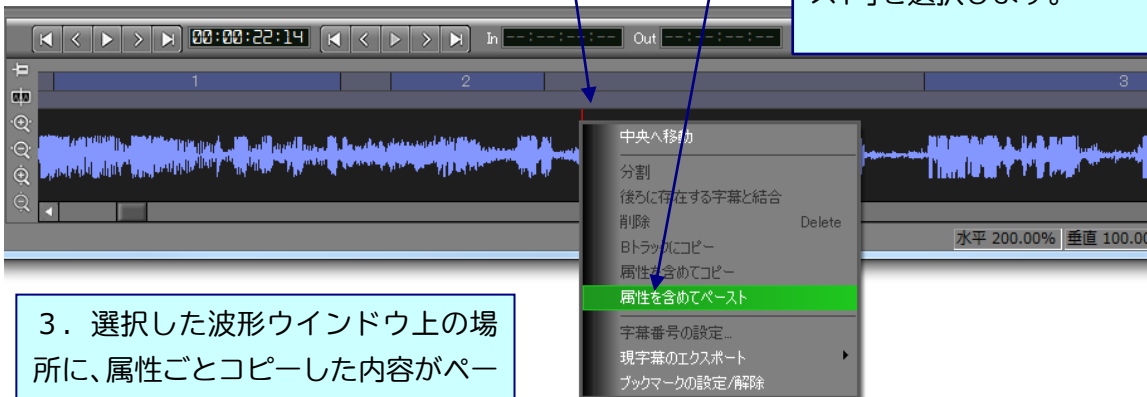
※ペースト先の字幕に既に字幕が入力されている場合、ペーストはできません。

※複数字幕をコピー&ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の数分、空の状態のハコが必要になります。

<ペースト先が波形ウィンドウの場合>

1. 波形ウィンドウ上の空いている箇所を選択します。

2. 右クリック→[属性を含めてペースト]を選択します。



3. 選択した波形ウィンドウ上の場所に、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※コピー元のハコごと波形ウィンドウ上にペーストされるため、表示時間はコピー元のデュレーションに依存します。

※ペースト先に、コピー元のハコの表示時間分の空きがない場合（例えば2秒のハコをコピーしているのに、ペースト先に1秒分の空きしかない場合）、ペーストはできません。

※複数字幕をコピー&ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の表示時間分、ペースト先に空きが必要になります。

－波形ウィンドウ上で複数の字幕を選択できるようになりました。

波形ウィンドウ上で Alt キーを押しながら、該当の字幕を左クリックすることで、複数の字幕が波形ウィンドウ上で個別に選択可能になりました。また、波形ウィンドウ上で Shift キーを押しながら字幕を左クリックで選択することで、字幕の範囲選択が可能になりました。

なお、字幕ウィンドウ上で複数の字幕を選択する場合は、従来通り Ctrl キーを押しながら該当の字幕を左クリック、もしくは Shift キーを押しながら該当の字幕を左クリックすることで複数の字幕が選択可能です。

●AAF エクスポート

－出力するファイルを、TIFF か PNG か選択できるようになりました。

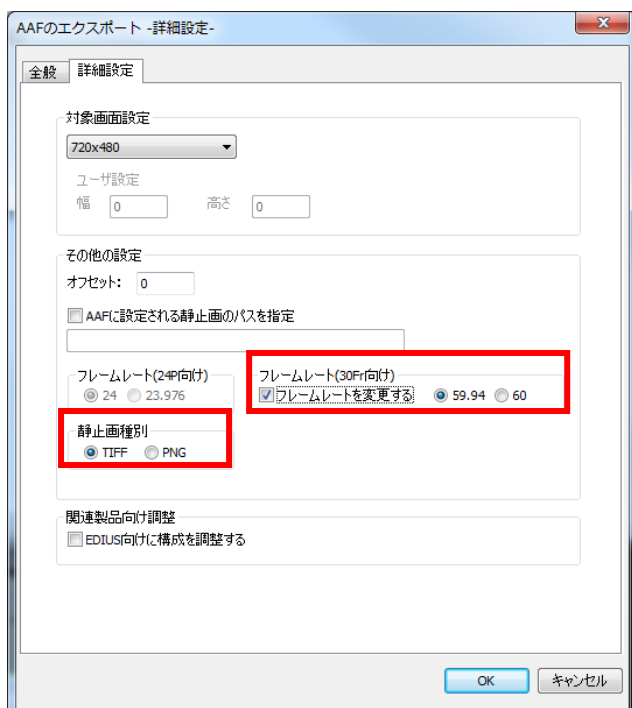
従来は、画像ファイルのエクスポートは TIFF ファイルのみが可能でしたが、今回のバージョンから、TIFF で出すか PNG で出すか選択が可能になりました。


－29.97 のプロジェクトにおいて、エクスポート時に 59.94 と 60 を選択できるようになりました。

ノンリニア編集機 (EDIUS など) へ 59.94 もしくは 60 フレームのプロジェクトをインポート可能にするために、エクスポート時に 59.94 と 60 の選択が可能になりました。ドロップフレームかノンドロップフレームかは SSTG1Pro のプロジェクトの設定に依存します。

ただし、現状 SSTG1 シリーズでは 59.94 もしくは 60 フレームのプロジェクトを作成できないため、スポットティングは 29.97 フレームのときのみとなり、59.94 における奇数フレームでインアウト点を設定することはできません。

いずれも [AAF エクスポート]－[詳細設定]タブにて選択が行えます。



 EDIUS において 59.94 フレームのプロジェクトをインポートした際、字幕の Out 点が 60 フレーム換算で 1 フレーム早くなりますのでご注意ください。

(例：SSTG1 上の表示の Out 点が 27 フレームだった場合、EDIUS においては 52 フレームが Out 点となり、53 フレームには字幕は表示されません)

本事象の原因については現在調査中です。